

令和3年度 工芸科

教科	芸術	科目	工芸 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	「高等学校 工芸 I」 (日本文教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・素材の特徴と適切な用具の扱い方を学び、丁寧な制作をしよう。
- ・日常を豊かにする個性的な作品を制作しよう。

2 学習の到達目標

- ・資料を収集させ、アイデアスケッチに時間をかける。
- ・一つ一つの行程を確認しながら確実に作業を行わせる。
- ・制作レポート、鑑賞レポートを充実させる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a: 工芸への 関心・意欲・態度	b: 発想や構想の能力	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	工芸の創造活動の喜びを 味わい、工芸や工芸の伝 統と文化に関心をもち、 主体的に表現や鑑賞の創 造活動に取り組もうとす る。	感性や想像力を働かせ て、心豊かな発想をし、 よさや美しさなどを考え 制作の構成を練ってい る。	創造的な工芸の制作をす るために必要な技能を身 に付け、表現方法を工夫 している。	工芸や工芸の伝統と文 化を幅広く理解し、その よさや美しさを創造的 に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 制作途中の作品	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 完成作品	制作途中の作品 完成作品	ワークシート 発言内容
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学期	オ カ リ ナ 基 本 形	【鑑賞】 オリエンテーション ・教科書等を鑑賞し多様な表 現形式について学び「工芸 I」の学習イメージを持つ。 ・鑑賞内容を発表する。	○			○	a: 工芸の多様な表現に関心を 持ち、これからの学習に意 欲を高めている。 d: 工芸作品などのよさや美し さを感じ取り、工芸の働き や文化についての理解を深 めている。	鑑賞レポート 鑑賞活動の様 子や発言内容

		【立体】 <ul style="list-style-type: none"> 粘土と用具の扱いを学び、説明に従って制作する。 基本形を確実に作り、音と音階の出る仕組みを理解する。 作品全体に、彫り文様を施す。 制作レポートを丁寧に書く。 	○		○		a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができています。 c: 立体を把握し基本形を確実に制作できている。仕組みを理解し音が出るように制作できている。 b: 数種の文様を組み合わせ施している。 d: 完成作品を客観的に観察し正しい文章で表現できる。	用具、材料の適切な使用 制作の様子 制作途中の作品 制作レポート 完成作品
	オカリナ抽象形	【立体】 <ul style="list-style-type: none"> 偶然性を利用した形からアイデアスケッチをする。 基本形制作を応用し、音階の出る立体として完成させる。 白土で象嵌文様を施す。 制作レポートを丁寧に書く。 	○	○	○		a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができています。 C: 立体を把握し、音階の出る立体を制作できている。 b: 抽象的な形に合った文様を工夫し施している。 d: 完成作品を客観的に観察し正しい文章で表現できる。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 制作レポート 完成作品
	高校展レポート	【鑑賞】 <ul style="list-style-type: none"> 高校展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。 	○			○	a: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d: 作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感知取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
2学期	連続版によるエコバッグ	【デザイン】 <ul style="list-style-type: none"> 連続させると形の一部分がつながり、組み合わせ方で違うデザインに見える版のデザインを考える。 彫刻刀で版を彫る。 連続させる方向のパターンと配色を考え、布袋に3～4色重ねて摺る。 布袋の表、裏で違ったデザインができるよう工夫する。 制作レポートを丁寧に書く。 	○	○			a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的確認ができています。 b: 回転と連続を理解し、効果的な版のデザインを考えることができる。 a: 彫刻刀を使いこなせている。 c: アクリルガッシュ、材料の使用方法的を理解している。絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫している。 d: 完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート
3学期	底面が円でない菓子鉢	【陶芸】 <ul style="list-style-type: none"> 条件に合ったデザインを考える。 ひも作り技法を学び、変化のある形を成形する。 用具の使い方を学び、形を整える。 化粧土を塗り、掻き落としによる文様を施す。 素焼き後、釉薬をつけ、本焼きする。 制作レポートを丁寧に書く。 	○			○	a: 学習内容に関心を持ち、手順、材料の使用方法的の確認ができています。 b: 技法を理解し立体で表現できている。 c: 土の特性を生かし表現方法を工夫している。 b: 掻き落としによる美しさを考え、文様を施している。 d: 完成作品を客観的にみることができている。正しい文章で表現できている。	用具、材料の適切な使用 制作の様子 制作途中の作品 完成作品 制作レポート

3 学 期	3 年 校 内 展 レ ポ ー ト	【鑑賞】 ・3年校内展を鑑賞し、レポートを丁寧に書く。	○			○	a:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、理解を深めている。	鑑賞レポート
-------------	---	--------------------------------	---	--	--	---	---	--------

※ 表中の観点について a:工芸への関心・意欲・態度

b:発想や構想の能力

c:創造的な技能

d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。